

Sentinel LEAP - SafeNet ソフトウェアライセンシングソリューション ニュース

Q1 2014

企業ニュース

Home

EXCLUDED SOFTWARE MONETIZATION

組み込み機器を保護する新しい仕組み

今日の組み込みアプライアンスは、標準化されたハードウェアを多種の高度なソフトウェアと組み合わせるアーキテクチャへと急速に変化しています。このようなソフトウェアベースの知的財産への変化により、ますますグローバル化する市場において、柔軟で競争力のある価格設定が可能になります。ソフトウェアベースの知的財産への変化は、インテリジェントなハードウェアの開発会社にとっては、偽造や著作権侵害、デバイス改ざんの脆弱性など、新しく生じみないリスクをも多くもたらします。また、従来のハードウェアビジネスに適用用いられていたものは全く違う新しい価格設定、パッケージ、管理戦略が必要になります。

急速に進化するハードウェア業界で成功するためには、デバイスや機器のメーカーは、ハードウェア上で実行されるソフトウェアを収益化する仕組みに重点を置く必要があります。ソフトウェア保護とライセンス管理の仕組みを導入することにより、不正なアクセスからアプリケーションを保護しながら効率性の高い製品構成の定義や管理が可能になります。

SafeNetは、組み込み市場のニーズを満たすために、Sentinel RMS Embedded および Sentinel LDK Embedded という 2 つのソリューションを提供します。これらの製品により、デバイスや機器メーカーはプロダクトパッケージや顧客のライフサイクル管理テクニックなどの新しい市場の要望に応えながら、自社のプロダクトを不正使用、改ざん、およびリバースエンジニアリングから保護できます。世界で最も信頼されているデバイスおよび機器メーカーも、次のような理由で SafeNet を使用しています。

- 受買意のあるセキュリティ-ライセンス管理の自動化とIP保護の技術により、製品とブランドの整合性の確保、リバースエンジニアリングの軽減、利益の保護を実現します。
- プロダクト構成管理 → 1 つのプライマリコードとビルドから複数の価格設定とパッケージングのオプションを生成して在庫コストを削減し、営業上のリスクを簡素化します。
- 柔軟なビジネスモデル - 業界で最も広範かつ柔軟性の高いライセンスモデルとエンフォースメント機能は、デバイスと機器のメーカーが、どのようなお客様からのパッケージングの求めにも常に対応できます。
- リモートフィードバック管理 - リモートでのソフトウェアのアップグレードと機能レベルでのアクセスコントロールが可能となるため、お客様のライフサイクル管理プロセスが簡素化されます。
- 集中化された管理とプロセス自動化 - Web ベースのエンタイトルメント管理ソリューション、Sentinel EMS と統合することで、ソフトウェアデベロッパーは、プロダクトのアクティベーション、利用状況のトラッキング、現在使用中のエンドユーザのエンタイトルメント管理の作業を一元化し、自動化することが出来ます。
- 優れた携帯性 - 広範囲なプラットフォームとOSの革新的なサポート、迅速で簡単なカスタム移行が可能となる設計です。

一連のセーフネットのSentinel ソフトウェア収益化ソリューションを使用してハードウェアに組み込まれたソフトウェアの保護と管理を行う方法についての詳細は組み込み系ページをご覧ください。

業界ニュース

Privacy Statement | Terms & Conditions of Sale | SafeNet | 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-17 御成門センタービル8F | 03-5776-2751 | jp-info@safenet-inc.com © 2013 SafeNet Inc. All rights reserved. | Use of this website signifies your agreement to the Terms of Use.

Sentinel LEAP - SafeNet ソフトウェアライセンシングソリューション ニュース

Q1 2014

業界ニュース

企業ニュース

EXCLUDED SOFTWARE MONETIZATION

組み込み市場の新しい潮流

現在、SafeNetの組み込み市場担当、事業開発ディレクターを務めるオウレリウス・ヴォジルスは、通信、自動車、医療など、多様な組み込み市場で15年以上にわたリ経験を積んできました。そのオウレリウスに組み込み領域で起きている変化と組み込みデバイスと組み込みアプリケーションの今後について聞きました。

一番最初に組み込み領域の何に関心を持ったのですか。

組み込み領域市場で私が心をから興奮させた最初の技術は、通信で大々的に使用されているFPGA (field-programmable gate array; 製造後に購入者や設計者が構成を設定できる集積回路) でした。組み込み市場の関心は尽きることがありません。革新に向けた多くの要件の変化は、PC市場より多いといえます。

現在、組み込みアプリケーションに起きている変化で最も大きなものをいくつか教えてください。

過去、企業がいくつかのソフトウェア (その多くは無料) を搭載して組み込みハードウェアを販売することがありました。現在は、コスト削減目的で組み込みハードウェアが標準化され、組み込みアプリケーションの差別化がソフトウェアでなされている状況も見られます。組み込み領域に対する基本的な変化によって、組み込みシステムの開発者が自分のソフトウェアを守る手段を見つけ出すことの重要性がますます高まっているのです。

組み込み領域で最も楽しみにしている新しいトレンドを教えてください。

組み込み領域において私が最も楽しみにしている変化の1つに、これまでが大手の組み込みデバイス製造業者との競争など考えられなかったような小さな企業や、組み込みのイノベーションを主導する企業が予測されることです。デバイス製造業者からソフトウェアアプリケーションに重心を変えることで、小規模な企業は、組み込み業界やドライブの新機軸において完全に競争できるようになったのです。

組み込みデバイスの製造業者が直面する課題や障害にはどんなものがあるでしょうか。

組み込みデバイスの製造業者は、共通の「言語」を使用して相互に通信できるシステムの作成が求められるようになると思います。交換可能な情報の形式を標準化する通信プラットフォームは、自社だけのデータ形式を定義した1企業の大半を変えることになるでしょう。

組み込み市場のニーズを満たすには、SafeNetは何を提供すればいいのでしょうか。

SafeNetでは、ネットワーク化用のアプライアンスや医療用デバイスからモバイルヘッドセットや産業用自動化機器まで、ソフトウェア収益化ソリューションを提供しています。これらは、ハードウェアに組み込まれたソフトウェアを安全に管理するよう特にカスタマイズされたものです。Sentinelの組み込み系ソフトウェア収益化ソリューションは、デバイスと機器メーカーに対して、そうしたメーカーが、自社の製品が改ざんされたり、リバースエンジニアリングされたりするのを効率的に防ぐために必要とするすべてのツールを提供すると同時に、完全に新しいパッケージ化の世界を開き、また収益を最大化するための機会も提供します。

SafeNetでは、組み込みソリューションを保護および収益化するために次の2つのソリューションを提供しています。

- Sentinel RMS組み込み系ソフトウェア - 非常に携帯性の高いSentinel RMSの本バージョンは、メモリ制約の厳しい組み込み環境の問題に特に対応できるように設計されており、ライセンスベースのソフトウェアを展開するお客様に理想的なソフトウェアです。このソリューションでは、以前から広範なプラットフォームをサポートしていますが、これまでのサポートに加えて派生物や標準以外のプラットフォームに対するサポートも提供されるようになりました。マルチな環境または既にRMSをご利用のお客様が共通の開発経験を期待できます。
- Sentinel LDK Embedded - 非常に携帯性の高いSentinel LDKの本バージョンは、組み込み市場で事業を展開するデバイスメーカーやソフトウェア開発会社がハードウェアベースのライセンス実施を実現できるように支援します。最速のセキュリティを具現化したSentinel LDKは、ハードウェアキー (暗号化の適用を意味する) のメモリ内にライセンスデータを保存し、Sentinel LDKに備わる優れたライセンスの携帯性によってライセンスが新しいデバイスや交換デバイスに簡単に移行されるようになります。

Sentinel Embeddedページはこちらから

イベント

Privacy Statement | Terms & Conditions of Sale | SafeNet | 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-17 御成門センタービル8F | 03-5776-2751 | jp-info@safenet-inc.com © 2013 SafeNet Inc. All rights reserved. | Use of this website signifies your agreement to the Terms of Use.

Sentinel LEAP - SafeNet ソフトウェアライセンシングソリューション ニュース

Q1 2014

イベント

業界ニュース

EXCLUDED SOFTWARE MONETIZATION

Cloud Days Tokyo 2014 Spring

イベント - 日本セーフネット、Cloud Days 東京、大阪、福岡に出展

日本セーフネットは、2014年2月26日 (水) と27日 (木) の2日間、ホテルニューオータニにて開催される「Cloud Days Tokyo 2014春」に出展します。クラウドサービスに従量課金で使いたい、ソフトウェアを購入する時代から、サービスを利用する時代へ変わりつつある今、ソフトウェア開発企業はユーザの両にどのように応えていくか、その効率的な解決策とは何か、紹介します。

東京セッションは、2月27日 (木) 11:00~11:40、大阪セッションは、3月7日 (金) 13:00~13:40 です。

こちら (東京、大阪) からお申込みください。

Webセミナー開催: 利用量ベースのビジネスモデルを活用

2014年第1回目のWebセミナーを、3月27日「利用量ベースのビジネスモデルを活用」というテーマで行います。

このウェビキャストでは、リアルタイムのアプリケーション利用データを活用し、新しいビジネスモデルの使用感や向上し最大限の収益性を達成するためのインサイトを導き出す方法について紹介します。

今回のウェビキャストは、次のような内容です。

- ソフトウェア開発会社がクラウドライセンスを使用して利用情報を収集する方法
- ピュアブライアプリケーションとオンラインモニタリングのためのクラウドライセンスングの活用方法
- 「クラウド接続ライセンスング」の説明と用途、状況測定への活用方法

このウェビキャストは、より良いサービスの提供と複数の価格設定モデルの実現を模索しているSaaSプロバイダの皆様、クラウドライセンスングを利用してより高品質のサービスを提供したいと考えているオンプレミスアプリケーション提供者の皆様に役立つ内容となっております。ぜひ参加ください。

こちらから登録できます。

ASK The Experts

オンディマンドWebキャスト: 仮想環境で効果的なライセンスング

最新の「Ask the Experts (エキスパートに聞く)」ウェビキャストセッションでは、仮想化の最新情報と進化についてご説明いたします。コスト削減、時短、コンプライアンス、信頼性、高度な柔軟性、スケラビリティ、およびグリーンインシアアプとなど、エンドユーザが仮想化の方向に進む要因は多数あります。ネットワークの仮想化は企業がコストを削減する上で役立ちますが、ソフトウェアへのアクセスを管理しやすくするためにライセンスを物理資産に結び付ける従来の機能に依存してきたソフトウェアデベロッパには難問をもたらします。仮想化は発展を続け、高度に仮想化され自律的に管理されるソフトウェアプラットフォームを実現させています。ソフトウェア開発会社も同じように発展する必要があるはずです。ソフトウェアデベロッパは、アプリケーションが高度なネットワークに展開される場合、その使用の追跡、コントロール、管理のために新しいツールが必要になります。

ウェビキャストの内容

- 仮想環境でのソフトウェア展開に関連するリスク
- 仮想環境でのライセンスングに関する業界のベストプラクティス
- 仮想ネットワークでライセンスングを行う際、SafeNetのクラウドベースのソリューションがどのようにノードロックの依存性をすべて排除するか

ここで記録されたWebセミナーを表示

製品スポットライト

Privacy Statement | Terms & Conditions of Sale | SafeNet | 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-17 御成門センタービル8F | 03-5776-2751 | jp-info@safenet-inc.com © 2013 SafeNet Inc. All rights reserved. | Use of this website signifies your agreement to the Terms of Use.

Sentinel LEAP - SafeNet ソフトウェアライセンシングソリューション ニュース

Q1 2014

製品スポットライト

イベント

EXCLUDED SOFTWARE MONETIZATION

Sentinel EMS

さらに使いやすくなった Sentinel EMS 2.9: エンタイトルメント機能追加

拡張可能な Web ベースの企業ライセンスおよびエンタイトルメント管理ソリューションである Sentinel EMS を使用する、ソフトウェア開発会社はビジネスオペレーションを改善して、エンドユーザの使用感を向上し最大限の収益性を達成できます。Sentinel EMS は、次のように多彩で有用なプレイヤーを企業に提供します。

- 一元管理されたライセンス管理インターフェース - ソフトウェア開発会社はライフサイクル管理機能の改善、サポートコストの削減、およびエンドユーザの使用感の向上が可能です。
- 簡単なライセンスングとフルフィルメント機能 - ライセンスに関する時間のかかる手作業のプロセスを改革できます。
- データ収集とレポート作成 - 運用コストを削減し、製品が実際にいつ、どのように使用されているかを貴重なインサイトを得ることができます。
- 柔軟なシステム統合 - ソフトウェア開発会社はバラバラなライセンスングシステムを中央で管理でき、単一で一貫性のあるインタフェースに従業員、パートナー、およびエンドユーザに提供できます。

Sentinel EMS の最新リリースには、次のような新機能や改善点があります。

- エンタイトルメントの一括ロードにより、ソフトウェア会社はエンタイトルメントを 1 つずつではなく一括してロードできます。
- エンタイトルメントの変更 - ソフトウェアデベロッパは基幹システムとの関わりなく、エンタイトルメントの変更を行うことができます。エンドユーザは、組織内でエンタイトルメントを必要に応じて簡単に分割できます。
- Sentinel EMS 2.9 の設計が強化され、ソフトウェア開発会社の操作性が改善されました。EMS の最新バージョンでは、外観が改善され、エンタイトルメントの修正フローが優れており、単独の操作でエンタイトルメントを作成できます。
- Web サービスツールが改善され、エンタイトルメントの検索、取得、修正、削除がこれまで以上に容易になりました。エンタイトルメント生成は、単一の Web サービスコールで行えます!

Sentinel EMS 最新バージョンのダウンロードはこちらからできます。

Sentinel HL Board および Chip で組み込み業界での立場を確保

ハイテク分野の機器メーカーなら、全世界でハードウェアからソフトウェアへの進化が避けられないこととお気づきでしょう。新しいモダンなデザインで提供されますが、既存の Sentinel HASP HL、Hardlock および SuperPro の実装とは完全に後方互換性があります。さらに、このキーでは、当社の次世代ソフトウェアライセンシングソリューションの Sentinel LDK で、前方互換性を最大限に利用できます。

顧客に提供する価値の中でもますます重要になるものが、提供するソフトウェアにかかっています。純粋なハードウェア企業からソリューション固有のソフトウェアを提供する企業に化するにつれて、知的財産の盗難など、いくつかの課題に直面する必要があります。多大な資源を投資してきたソフトウェアの保護、ライセンス、管理が非常に重要であることにも気づくでしょう。

知的財産の保護、組み込みソフトウェアのライセンスング、不正な使用や配布からの保護はどうしたらいいでしょうか? SafeNet の Sentinel HL Board および Chip が、Sentinel HL ハードウェアベースのプロテクションキーに新しく追加されました。LDB および Chip が Sentinel HL ファミリーの他のキーと異なるのは、組み込みソフトウェアが Sentinel LDK Embedded (組み込み市場向けの SafeNet の包括的ソフトウェア収益化ソリューション) とともに使用されるときに、組み込みソフトウェアを保護することに特化した設計にあることです。非常に小さいため、制約の多い組み込み環境に理想的で、必要なソフトウェアセキュリティに関して妥協する必要がありません。製造段階で HL Chip をデバイスにはんだ付けする場合でも、最終組み立て段階で HL Board を差し込むだけの場合でも、SafeNet Sentinel HL によってソフトウェアが保護され、変化した業界でのお客様の立場も安全なものとなります。

Sentinel HL Board および Chip の技術仕様は、弊社 Web サイトをご覧ください。

成功の要因

Privacy Statement | Terms & Conditions of Sale | SafeNet | 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-17 御成門センタービル8F | 03-5776-2751 | jp-info@safenet-inc.com © 2013 SafeNet Inc. All rights reserved. | Use of this website signifies your agreement to the Terms of Use.

Sentinel LEAP - SafeNet ソフトウェアライセンシングソリューション ニュース

Q1 2014

成功の要因

製品スポットライト

EXCLUDED SOFTWARE MONETIZATION

Sentinel HL

Sentinel HL への切り替えはお済みですか?

昨年、SafeNet は、ハードウェアベースの次世代ソフトウェア保護トークンの Sentinel HL を発表しました。Sentinel HL のキーは、新しいモダンなデザインで提供されますが、既存の Sentinel HASP HL、Hardlock および SuperPro の実装とは完全に後方互換性があります。さらに、このキーでは、当社の次世代ソフトウェアライセンシングソリューションの Sentinel LDK で、前方互換性を最大限に利用できます。

昨年は、おかげさまでお使いいただいたお客様からは大変好評で、新開発の機能は今日市場に出回っているどの製品よりも高レベルを保っています。Sentinel HL キーは、Sentinel HASP、Hardlock、および SuperPro との完全な後方互換性を持つだけでなく、次のようにさまざまなフィードバックや利益があります。

- セキュリティ強化 - すべての Sentinel HL のハードウェアベースの保護キーは非常に安全な SmartCard チップを使い、差分電力解析 (DPA) や電子顕微鏡検査など悪意のあるハードウェア攻撃に対する最大のセキュリティを提供します。
- 高度にカスタマイズされたトークン - 個人化されたロゴやテキストのためにより多くのスペースを提供します。
- 古くならない - 当社の UpdateOnChip™ メカニズムを使い、すでに展開されているキーに対して、も将来的な機能性や改良を追加します。

お客様のオプションの評価はもうお済みですか?この機会にぜひ、Sentinel SuperPro、HASP、Hardlock、または HASP4 キーから移行して、下記の 2 つの最新の「直観的な」機能のメリットを活かすことをおすすめします。

- ドライブ不要の機能 - エンドユーザのマシンへのデバイスドライバの導入は不要です。ドライブへの依存を無くすことにより、現場での問題を軽減し、顧客サポートへの問い合わせを減らし、エンドユーザ満足度を向上します。
- 新型 AppOnChip 三層の保護 - 同じくドライブ不要の構成をサポートする AppOnChip では、ハードウェアキーとアプリケーションの結合を事実上分離不能にし、ソフトウェアの不正な使用を今まで以上に強力に防止します。

今すぐ弊社ホームページで Sentinel HL の詳細をご覧ください!

成功の要因

Privacy Statement | Terms & Conditions of Sale | SafeNet | 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-17 御成門センタービル8F | 03-5776-2751 | jp-info@safenet-inc.com © 2013 SafeNet Inc. All rights reserved. | Use of this website signifies your agreement to the Terms of Use.

programs.safenet-inc.com/LEAP-Q1-Newsletter/index-jp.html[23/04/2015 13:46:05]